

私の宝物 …

## 旅先で手に入れた「木彫り」

私の宝物は、息子との思い出が沢山詰まった、「木彫り」です。

今から36年前、小学6年生の息子と北海道旅行をしたとき、旅の終着地となった苦小牧の近くで立ち寄った工房で作ってもらったのが、この「木彫り」です。息子との二人旅を記念して、高さ40センチほどの男性の顔を彫ってもらいました。



粕谷有史さん  
(狭山在住)

実はこの旅、思春期を迎え、自我が芽生えてきた息子と沢山話そうと、二人で出掛けたもので、行き先をその日の朝に決めるバスでの行程でした。広大な自然と人との出会いを楽しむ旅は、息子に大きな影響を与えたようで、親子でとことん話すことができました。



裏には日付と名前、年齢を彫りました

今では私の跡を継いで自営をしている息子。この「木彫り」を眺めると、旅の一コマ一コマが思い出されます。私と息子の絆の証であり、かけがえのない宝物です。

今回は、東三ツ木にお住まいの方を紹介します。



自治会提供

日ごろから点検し、安心して生活できる環境づくりを心掛けています

私たちの自治会は、智光山公園に隣接する、日高市境にある地域で、会員数は259世帯です。地域内の生活道路を県道笠幡狭山線の抜け道として通過する車両が多いことから、自治会で注意喚起の看板を設置するとともに、パトロールを実施するなど、交通安全と地域防犯に力を入れています。また、クリーン作戦や夏祭り、敬老会など、会員相互の交流を図る事業も活発です。さらに、毎月発行する「自治会便り」には、地域の情報や活動の予定・報告などを掲載し、活動への理解と協力を得られるよう努めています。これから会員同士で支え合い、安心・安全な住みやすい地域を目指していきます。

## ごきげん自治会

### 柏原第二区自治会

## 仲間たち Vol.432

### 韓国語学習サークル・ケナリ



私たちの会は、狭山市国際交流協会のメンバーが、25年ほど前に市内で初めて設立した韓国語サークルです。

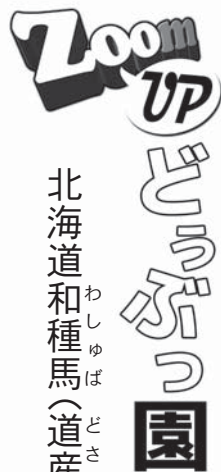
市の姉妹都市である韓国の統営市民ともしっかりと深く交流したいと、土曜日に広瀬公民館で、韓国人の先生の指導の下、作文を書いたり、テーマに沿った討論をしたりして、一人ひとりの語学スキルと韓国文化の習熟に努めています。また、さやまっ子にも、韓国を身近に感じ興味を持ってもらおうと、「韓国すごろく」で一緒に遊んだり、自分の名前をハングルで書けるようサポートしたりしています。

皆さんもぜひ、韓国語の習得を通じて韓国文化に触れてみませんか。

問合せ石川勝彦さんへ ☎2953-7903



道産子は、極寒の自然の中で、人や物を運ぶ輸送手段としても活躍した日本在来種で、200kgもの荷物を運ぶ力強さと丈夫な体が特長です。当園の「スズラン」(メス・7歳)は、白い体に青い目の優しい性格の馬です。3年前、大雪が降った翌日にオスの「ユキオ」を出産。現在はほかの動物園にいますが、親子の睦ましい姿が人気でした。スズランは乗馬コーナーでも活躍中。ぜひ会いに来てください。



北海道和種馬(道産子)

30

#### 【こども動物園】

柏原864-1 ☎2953-9779  
月曜休園(祝日の場合は翌日)

#### 【北海道和種馬データ】

ウマ科奇蹄目  
体長約125cm~135cm  
体重350kg~400kg



## 東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアーに参加

8月14日(月)、オリンピックとパラリンピックのフラッグが狭山市に到着し、翌15日まで市役所1階に設置した特設コーナーで披露されました。

このツアーは、東京都及び東京2020組織委員会、JOC、JPCが主催し、両大会に向けた「オールジャパン」の一体感を醸成しようと、昨年10月にスタートし、7月24日から県内36市町を巡回しています。フラッグを受け取った小谷野市長は、「史上最大の大会となるよう、市としても機運を盛り上げていきたい」と話し、大会を身近に感じられる良い機会になりました。



オリンピックでは、本市に所在するゴルフ場で競技が開催されるとともに、7人制ラグビー競技の事前キャンプ地にも立候補していることから、市では、大会への市民の機運を醸成するため、オリンピック関連事業を行っていきます。

問合せ政策企画課へ内線7133

## ONE for All 市長が走る!

### 地域を支えるシニアパワー

アクティブ・シニアと呼ばれる元気な高齢者が、さまざまな場面で活躍しています。夏祭りの準備や登下校の見守り、自治会の活動は、こうした皆さんの存在がなければ成り立ちません。また、市民大学での学びを生かしたボランティアやNPOでの活動は、防災や子育て支援、地域福祉など地域の新たな力になっています。

4月1日現在の狭山市の高齢化率は29.4パーセント。この数字は全国や県の平均よりも高く、速い

スピードで高齢化が進んでいます。となくマイナス面が強調される高齢化ですが、プラス面だってたくさんあります。高齢化率が高いのは、昭和40年代後半から50年代前半の人口急増期に定住された方が多いということ、狭山市が住みやすい「まち」だという何よりの証です。地域貢献として汗を流すシニアが多いのは、元気で郷土愛に溢れた方が多いということ。それは、狭山の元気の源にほかなりません。

もうすぐ敬老の日を迎えます。今年度、百歳を迎える市民の方は28人。多くの苦勞をされてきた皆さんがいつまでも元気でいられるよう市としても取り組んでいきます。



総合防災訓練(堀兼小学校)に参加

### 市長の主な動き

○8/2…不老川流域対策推進協議会要望活動  
○8/5・6…狭山市入間川七夕まつり  
○8/7…一般会計・特別会計・上下水道事業会計決算審査、財政健全化指標審査結果報告  
○8/14…オリンピックフラッグ・パラリンピックフラッグ受入式  
○8/17…広域飯能斎場組合議会定例会  
○8/22…ASEAN諸国大使等歓迎レセプション  
○8/24・25…企業訪問  
○8/26…総合防災訓練  
○8/28…定例記者会見

## 協働のまちづくり条例を策定します

8月18日(金)、新狭山公民館で「協働のまちづくりに関する意見交換会」を開催しました。この意見交換会は、策定中の「協働のまちづくり条例(仮称)」に生かしていくために「地域の魅力づくりや課題の解決に向けて、市民や事業者、行政それぞれができること、しなければならないこと」をテーマに地域の皆さんと意見交換を行うものです。堀兼地区、奥富地区、新狭山地区の市民や事業者など31名が参加したこの日の意見交換会では、多くの方に地域活動に参加してもらう方法など活発な意見が交わされました。この意見交換会は、今後も各地域で開催していきます。



問合せ協働自治推進課へ内線2511

## 「ヒバクシャ国際署名」に署名

7月19日(水)、狭山市は、所沢市、入間市、飯能市とともに、速やかな核兵器廃絶を願い、全ての国に核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを求める「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名(ヒバクシャ国際署名)」に署名しました。恒久平和の実現に向けて、これからは平和関連事業に取り組んでいきます。

問合せ政策企画課へ内線7133